様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	むらかみ病児保育センター及び あらかわ病児保育センター	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	学校法人北都健勝学園・社会福祉法人真心福祉会共同事業体 代表法人　学校法人北都健勝学園	所管課	こども　　課
指定期間	令和７年４月１日～令和12年３月31日（５年間）	評価者（課長）	高橋　朗

１　令和７年度の実績

（１）事業実績

利用実績	○むらかみ病児保育センター〈定員６名〉利用登録者数265名、総利用者数503名 ○あらかわ病児保育センター〈定員４名〉利用登録者数281名、総利用者数348名
サービス向上の取組	両病児保育センター合同での研修会やインシデント防止のための意見交換等を含めた会議を定期的に行い、サービスの向上に努めた。また、両法人の強みを活かして専門職の不足なく利用者の要望に対応した。

（２）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	31,081	31,273	32,235	94,589	基本協定額：　162,727　千円
	利用料金	0	0	786	786	
	事業収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	収入合計　①	31,081	31,273	33,021	95,375	
支出	人件費	22,148	21,959	23,127	67,234	
	福利厚生費	115	300	144	559	
	事務費	0	0	0	0	
	管理費	3,784	4,043	3,607	11,434	
	水道光熱費	835	1,219	1,123	3,177	
	修繕料	227	52	0	279	
	使用料・リース料	357	369	248	974	
	手数料・保険料	688	583	537	1,808	
	委託料	1,677	1,820	1,699	5,196	
	事業費	913	932	846	2,691	
	自主事業経費	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	支出合計　②	26,960	27,234	27,724	81,918	
収支差額（①－②）		4,121	4,039	5,297	13,457	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	△	○	市内在住者からの応募が少なく、市外（近隣市町村）からの専門職者を採用しているが、これにより不履行とする事由に該当しないため、「○」と評価する。
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

３　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

病児保育は、利用児の年齢幅が広く、また多様な疾患で利用されるため、病児が安心・安全に過ごせる環境を確保しつつ、個々の状態に応じた臨機応変な対応が求められる。これらに対応するためには、職員の専門性向上と継続的な資質向上が必要である。

（2）課題解決に向けた取組

センター内の人材育成マニュアルを活用するとともに、疾患別対応や急変時対応を含む研修を計画的に実施し、各種業務マニュアルの更新を行った。これらの取組により、個々の病児の状態に応じた質の高い保育を提供できるよう、職員の資質向上に努めた。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

・インターネットでの受付や、アプリやネット予約ができるようにしてほしい。
　→受入の際は、病名、隔離の有無、病状、年齢等の詳細を確認した上で、受け入れる必要があるため難しい。
・保育人数を増やしてほしい。
　→施設基準等の面から難しい。

②その他

特になし

４　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

病児保育の運営にあたっては、お子さんの安全を最優先に、各センターでの研修や合同研修、インシデント防止に向けた意見交換を継続的に行い、サービスの質および職員の資質向上に努めてきた。
また、利用者アンケートを通じて意見を収集し、改善可能な事項については迅速に対応することで、利用者の満足度向上に取り組んできた。
今後も、ホームページやニュースレター等の広報活動を通じて、病児保育センターの存在を広く発信し、地域における認知向上と利用の充実に向けた取組を進めていく。

（2）施設所管課の評価

むらかみ病児保育センター、あらかわ病児保育センターの2施設間において普段から情報共有や連絡を密にしたことにより、緊急時の人員不足や欠員の発生時に応援調整できていたこと、保護者と連絡を密にしたことにより、病児の状況や病態を把握し、信頼関係を築けていること、安全管理体制も適切に実施されていることから、適正に運営・管理されていると考える。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

今後も職員の資質向上を図り、また、利用者に対するきめ細やかな対応を心掛け、病児が快適かつ安全に利用できるようサービスの向上と安定した管理運営に努めてもらいたい。